



第2回学校運営協議会が開催されました

10月26日(木)15時半より、原小学校第2回学校運営協議会が開催されました。今回は主としてコミュニティ・スクールとなってからの学校の取組の中間報告を学校運営協議会委員の皆様へお伝えしました。協議内容は、次の通りです。

- 学校の取組の中間報告
 - ・学力向上に向けた取組
 - ・研究推進の取組
 - ・生徒指導の現状と取組
 - ・体力向上、健康・食育
- 意見交流
- 学校と地域の連携報告
- その他



後半は、コミュニティスクール推進員(平井)と北岡地域学校協働活動推進員がふだん連携している状況と内容例について報告させていただきました。基本的には、月1~2回コミュニティスクール推進員が地域センターへ出向き、連携を行っています。

〈協議の中で出された主な質問や意見〉

○国語の学習に関する児童アンケートで、2割程度の児童の否定的受け止めの要因について質問がありました。

A: 国語は漢字を覚えることの大変さや音読の難しさから、苦手意識をもっている児童も少なからずいます。漢字・音読の練習方法を工夫し継続することで、力をつけていきたいと考えています。また今年度は、「読む力」に重点をおいて指導方法の工夫について研修しています。「読む力」をつけることでも、国語に対する苦手意識を解消していきたいと思えます。

○学校や生活に関するアンケートにおいて、「自分にはよいところがある。」という設問に対して「ぜんぜん」と答えた4名の児童に対する対処はどうなっていますか、と質問がありました。

A: 4名に対しては個別に聞き取りを行って、学校生活を楽しみながら自分の良さを見つけていけるよう配慮していきます。

○「読む力」にかかわって、新聞をもっと利用してはどうかという意見をいただきました。貴重なご意見、ありがとうございました。

○読む力や心豊かな子どもの育成に関わって、読書についてはどうなっていますか、という質問がありました。

A: 小学校では各学年の目標ページ数を設定しており、各自に読書記録カードを配付しています。毎週月・火曜日(8:15~8:30)には朝の一斉読書の時間を設け、読書カードにも記録しています。月に一度、ボランティアさんによる読み聞かせもあります。また、学級単位でもまとまって図書室に行き、利用しています。さらに、図書委員会は月・水・木・金曜日の昼休憩に貸し出しを行っています。このような取組を通して「不読率」をゼロに近づけたいと思えます。

○(学校長より)原小学校の児童は恥ずかしがりやが多く、コロナ禍の影響もあって挨拶や返事の声が小さい傾向がありましたが、コロナ回復後は笑顔が戻り、挨拶の声も大きくなって、児童たちの心がほぐれてきた感じがします。例えば、社会見学の出発の際、「いってきます。」「いってらっしゃい」という児童同士の声のかけあいが見られました。地域ではまだまだかもしれませんので、地域、保護者の方々のご協力のもと、今後も取組を継続します。